

アカデミー通信

新大学入試 2018年度 英語マーク式と民間両方必須

現在の中3生から大学入試が大きく変わります。従来型のマークシート式と実用英語技能検定(英検)などの民間試験の両方を国立大82校の受験生に課すことになり、私立大や公立大の入試にも影響を与えると考えられています。現在小学6年生が大学を受験する24年度から、英語は民間試験に全面移行することになります。

国立大には今も民間試験の活用には否定的な意見があります。英検やTOEFL、TOEICなど、難易度も内容も異なる民間試験の成績で「公平な合否判定ができるのか」という懸念があるためです。

これに対し、「読む、聞く、話す、書く」の4技能評価を定着させたい文科省には、「共通テストの中核を担う国立大にどうしても民間試験を使つてほしい」という思いがあります。

英検全体での小学生以下の受験者数は昨年度37万人を超え、4年前より6万人増えました。

英検は昨年度の試験から、入門レベルの5級までスピーキングテストを導入しました。級の可否には含まれませんが、「中高の英語教育や大学の入試改革と、小学校での英語に連続性を持たせよう」という狙いがあります。将来の『使える英語力』につながる」としています。

これまで1〜3級では面接委員との対面式のテストを実施してきましたが、4、5級ではパソコンやスマートフォン、タブレットへの録音形式で実施されています。この10月の英検で、4

5級に合格した皆さん(裏面参照)はぜひ積極的にスピーキングテストにチャレンジしてください。

「英語の授業は英語でアクティブに」中学でも高校でも」という中高の英語教師対象の講座がシリーズで現在、全国で開催されています。ちょうど今テレビで放映されているドラマ『先に生まれただけの僕』の中で見られるのと同じ光景のアクティブラーニングがこれからの学校教育の主流になっていきます。学院長が昔、中央大学で教えた教子さんが今、藤沢市の高校で英語教師をしています。この人もアクティブラーニングのセミナーや研究発表をあらゆるこころで持っています。



『先に生まれただけの僕』の1シーン

韓国や中国始め、東南アジア諸国に後れを取った日本の英語教育も、これまでの文法中心の受験用暗記英語から実用的なコミュニケーション英語に変わっていくのです。

2020年度から全面実施される新学習指導要領が来年度から先行実施されます。使われる教材では5年生でも英文が多く扱われていて3人称

単数や、6年生では過去形(現在では中1〜中2で学習)が出てき、英作文も入って、読む・書くにも力を入れます。

この教材を使って来年度4月からこれまでの外国語活動に加えて15時間は正規教科としての授業も実施されるようになります。小3、小4は読み聞かせや絵本を活用した音による指導を重視します。



一方、現場では小学校の教員のうち6割が英語力に自信がないと答えているという事実があります。これからは、学校と塾・英会話スクールが協力して英語教育を進めていくようになるでしょう。

英会話学校としてスタートしたアカデミー学院は30年前の開校当初から小学生の英語教育に力を入れてきています。その結果、中学や高校の英語の先生になった人や、商社や外交官になって英語を使って活躍している人がたくさんいます。

小中学生の皆さん、将来英語が自由に使えるよう、またいろんな場面で役立てることができるよう、今からしっかりと英語を勉強しておきましょう。

頭の柔軟体操 9月号の答え

- 問1 目は四、鼻は九、口は三。耳は「兆」 視覚、嗅覚、味覚、聴覚
- 問2 富士山 いい、山だ エベレスト いいや、まだ名前 飯山だ
- 問3 「さむくなる」ほど「あつくなる」ものは「服(ふく)」
- 問4 芽、花、歯があるのは植物
- 問5 江藤さんの、「え」が「お」になると「お父さん」
- 問6 世界中で一番、キラーキラーいわれているスターは「ジエルトコースター」
- 問7 「さしすせそ中」は、サ行と中だから「作業中」
- 問8 人をだます悪い天使は「ペテン師(し)」
- 問9 野球ができる広さは「球場」だから「たみ」九畳
- 問10 総画数57画
- 問11 バッターの打率が一番低くなるのは「打てん」日「雨天」
- 問12 急カーブで落ちたのは「スピード」
- 問13 おつりは0円
- 問14 「おやつ」は3じ。「いま」は「2字」
- 南口優花ちゃんと南口優馬くんは2週間違い。おいしい! 残念賞をさし上げます。

冬期講習実施要項

今年度の冬期講習を下記のとおり実施します。冬期講習は中3生にとっては最後の追い込みになる大事な講習会です。全5教科、中1〜中3までの学習内容を入試必出問題で総復習します。そして最終日には母集団最大規模の神奈川県模試で志望校合格判定を行い、各教科の弱点を探り出し、冬期講習に続く入試直前特訓での対策に活かします。

入試直前特訓では、週4日体制で、的中率抜群の予想問題を使用して徹底的に実戦演習を行います。毎年、この直前特訓で大きく実力を伸ばし、合格を手に入れる生徒が大勢出ます。6週間の直前特訓は、実質3か月分の塾の授業に相当しますので、勝負はまだこれからです。直前特訓10個別で苦手教科克服も可能。中2生にとっては、第1次高校入試とも言われる「後期の内申点」を上げるまたとない機会です。

中1生は、中2になると内容がぐんと難しくなる各教科の基礎・基本をしっかり確立させる最高のチャンスの時となります。

小学校までは算数が好き・得意と言っていた生徒の大半が中学の数学でつまづきます。そこでアカデミーでは冬期講習終了後、1月から2月にかけて、小6生のための「新中1準備講座」を開講し、ここで中学数学と英語の基礎をしっかりと指導します。

小中高個別生は、個別部の冬期講習で学んでいただきます。ガウデアシア生は4週目の授業を講習期間内に行います。お一人ひとりに予定表をお渡しします。

他塾には、個別指導と言いつつも教師1対生徒5〜6人

冬期講習実施要項

- ・中公検対策 25,920円
- ・全8日間(12月22日〜28日) 24日休み(1月5〜6日)
- ・小6集団無料総復習講座 算国(期間は中1と同じ)
- ・中1実力養成講座 全5教科 20,520円
- ・全9日間(12月22日〜29日) 24・25日休み(1月5〜7日)
- ・中2内申アップ講座 全5教科 27,000円
- ・(期間は中3と同じ)
- ・中3入試必勝講座 全5教科 29,160円
- ・全11日間(12月22〜29日) 24日休み、1月4日〜7日)
- ・新中1準備講座 英語・数学 7,560円(1科全14日間(1月〜2月))
- ・中3入試直前特訓 全5教科 58,320円
- ・全22日間(1月8日〜2月12日)
- ・小学個別部 英・算・国
- ・中高個別部 全5教科対応